

ごあいさつ

いび川農業協同組合
代表理事組合長

堀 尾 茂 之



平素よりJAいび川の各事業に格別のご利用を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の拡大による企業活動の停滞や個人消費の落ち込みにより、景気後退への警戒が強まっています。金融政策においては、企業の資金繰り支援と金融市場の安定維持が図られ、量的・質的金融緩和政策の継続により、国内金利は依然として低位での推移となりました。

農業分野においても新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、需要減退による価格低下が幅広い品目で発生し、今もその影響を受けております。引き続き、生産者の方々を支援するため、直売所を中心とした消費拡大対策に取り組んでまいります。

JAをめぐる情勢では、昨年7月に閣議決定された規制改革実施計画において、自己改革の取り組みの継続や准組合員の意思反映などが必要とされました。また、変容する社会経済への対応、持続可能な収益性の確保、健全性強化を金融機関に促す早期警戒制度の見直しなど、JA経営をめぐる情勢は一層厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、JAいび川としましては、第9次中期経営計画（令和元年度～3年度）において、「農業者の所得増大の実現」「協同による地域活性化への貢献」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」を基本目標と定め、取り組みを進めてまいりました。

特に営農経済事業の一体的な運営、収支改善、出張所の見直しを進めてきましたが、急激な社会の変化、環境の変化によりさらなる効率的な事業運営が求められる状況となってきました。

令和3年度は中期経営計画の最終年度として、掲げた3つの基本目標実現のため、総合事業再編戦略の実践に取り組み、組合員や地域の皆さまから必要とされるJAを目指して事業を展開してまいります。

今年度も組合員の皆さまの負託に応え、皆さまとともに邁進する所存です。

ここに「2021年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、是非ご一読いただき、JAいび川への理解を深めていただきますとともに、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

